

教科	科 目	単位数	学年・クラス
国語	古典B	2	3年2組

1 使用教材

使用教科書	高等学校 改訂版 標準古典B
出版社	第一学習社
副教材等	必携これからの古典文法
出版社	尚文出版

2 学習の目標

1 古文や漢文に用いられる語句の意味、用法及び文の構造を理解する能力を身に付ける。
2 文章や作品に表れた人間、社会、自然などに対する思想や感情を読み取り、ものの見方や考え方を豊かにする。
3 古典を読んで、日本文化の特質や日本文化と中国文化の関係について理解する。

3 評価の規準・観点・方法

評価の観点	内 容
① 関心・意欲・態度	古典に興味を持ち、言語文化や伝統に対する関心を深め、積極的に当時の人々の心情理解に努めている。
② 読む能力	古典の表現上の特色や、発音上の特色などを理解し、文章の調子などを味わいながら音読できている。
③ 知識・理解	語彙や文法などの基本的知識を身に付けたり、時代背景や文学史上の意味を理解したりすることで、心情や人生観を共感できている。

観点 評価方法	観点				備考
	①	②	③	④	
授業への取組	A	A	A	C	授業態度など
課題提出	A	A	C	C	指示した時期に提出
ノート活動	A	A	B	B	指示した時期に提出
定期考査	C	B	B	A	定期テスト、課題テスト

※表中のA・B・Cは評価の重要性を高い順に表している。

4 学習計画

学期	学 習 内 容	学習のねらい
1 学期	『宇治拾遺物語』 逸話 『説苑』 不顧後患 圍人之罪 説話 物語(二) 『大鏡』 延喜の帝 弓争ひ 三国志の世界 『三国志演義』 水魚之交 死諸葛走生仲達	会話文の種々の型に注意し、口語訳の力を身に付ける。 話の筋を読み取る力を養うとともに、中国人のものの見方や感じ方、考え方を理解する。 全体が会話文の枠の中にある文章表現の特色を理解し、さらに語り手の表現から当時の男性的視点がどのようなものであったかを読み取る。 それぞれの英雄の人物像や性格の特徴を読み取りながら、その世界観や漢文独特の誇張表現のおもしろさに触れる。
2 学期	物語(二) 『源氏物語』 光る君 若紫 漢詩の鑑賞 古体の詩 日記 『蜻蛉日記』 泔坏の水 『紫式部日記』 日本紀に御局 史記の群像 孫臏 馬騮	文学史において卓越した存在である作品に触れることにより、正確な読解を通して登場人物の人物像や心情について考える。 古体詩を読み、近体詩と比較しながらそれぞれの詩の主題をとらえ、人間や社会について考えを深める。 物語文学と日記文学の相違点を考えながら、それぞれの作品の個性を楽しみ、それらに共通する性格を読み取る。 古代中国の社会状況や政治思想を知り、治乱の世に対処する人々の人間像に触れて、自己の歴史観や人生観を養う。
3 学期	評論 『無名草子』 清少納言 『玉勝間』	各分野にわたる優れた評論を読み味わうことを通して、古典文学を更に深く、また異なった角度から読み解く力を養う。